

若浜小学校の総理大臣

平成十三年度 六年 女児

若浜小学校の企画委員会は「若浜小学校の総理大臣」と呼ばれています。

どうして「総理大臣」などと呼ばれているのかというと、学校のいろいろな行事の中心となり、みんなをひっぱっていくからです。

六年生になり委員会の所属を決める時、私はそんな企画委員会の仕事がめんどうそうだと思っていました。家で母に各委員会の話をし、相談しました。放送委員会や集会委員会、去年仕事をしていたお知らせ委員会、もちろん企画委員のことも話しました。すると母は、「めんどうに見えることでも、やってみると本当は楽しいことかもしれないよ。やったことがない仕事をやってみるのもいいんじゃないの?」と言うのです。私はよおーしと思いつながらふとんに入りました。

次の日、委員会の所属を決める時間がやってきました。

千晃さんと一緒に企画委員会に入ることになりました。

一人だけでは心細かったからです。

「企画委員会に入りたい人は。」という先生の声が聞こえてきました。二組で手を挙げたのは、私と千晃さんと佳奈さんの三人だったので「これで決まった!」と思いました。が、男子も入れた方がいいということで、数名の男子も入れてオーディションで決めることになり、最終的に三名の中に残ることができました。「やったあ!」と思いました。夜になってもまだドキドキしていました。

初めての企画委員会で自己紹介をしている時、知っている人がいたので少しほっとしました。でもその日の委員会では意見を出せず無言で終わってしまいました。この次の委員会までに児童会のスローガンを考えて来ることになりました。

一週間があつという間にすぎ、委員会ですローガンを発表する時がやってきました。私は『ひとりのため、みんなのための児童会』というのを提案しました。拓真君の『どこまでも、あきらめず進み続ける児童会』というのと

私のとで決めることになり、五対四で拓真君のスローガンに決まりました。これを原案として各クラスで話し合っ
って正式に決定されるのです。

クラスでスローガンについて話し合った結果『がんばり
りで、かがやく未来だ児童会』に修正されました。代表委
員会で発表し、再度スローガンについて話し合ったら六
の二の意見が採用され、児童会のスローガンとして使われ
ることになりました。私はさらに委員会に行くことが楽
しくなっていました。

これからも企画委員会の仕事にすすんで参加し、「若浜
小の総理大臣」と呼ばれても恥ずかしくないように委員
会のみなどと協力してがんばっていきたいと思います。